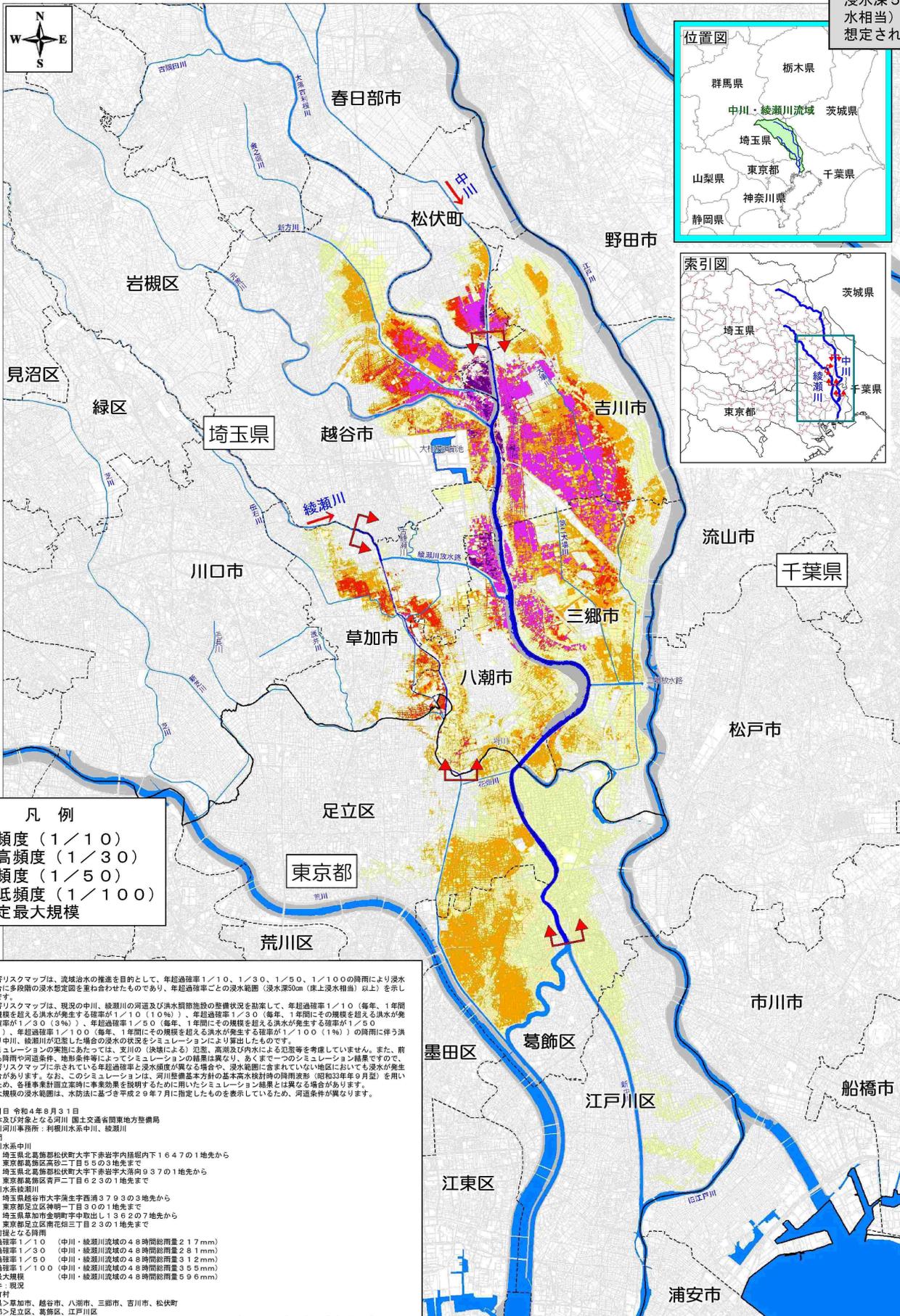


利根川水系中川・綾瀬川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ(0.50m)【現況河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示



凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 想定最大規模

1. 説明文

- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に多段階の浸水想定範囲を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
- (2) この水害リスクマップは、現況の中川・綾瀬川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%)の降雨に伴う洪水により中川・綾瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
- (3) このシミュレーションの実地にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前掲となる降雨や河川条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(昭和33年9月型)を用いているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
- (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年7月に指定したものを表示しているため、河川条件が異なります。

2. 基本事項等

- (1) 公表年月日 令和4年8月31日
- (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省関東地方整備局
・江戸川河川事務所:利根川水系中川・綾瀬川
- (3) 実施区画
・利根川水系中川
左岸:埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩字内堀線内下1647の1地先から東京都葛飾区高谷一丁目5の3地先まで
右岸:埼玉県北葛飾郡松伏町大字下赤岩字大湾向937の1地先から東京都葛飾区青戸二丁目623の1地先まで
・利根川水系綾瀬川
左岸:埼玉県草加市大字蒲生字西浦3793の3地先から東京都足立区神明一丁目30の1地先まで
右岸:埼玉県草加市金明町字中取出し1362の7地先から東京都足立区南花畑三丁目23の1地先まで
- (4) 算出の前記となる降雨
・年超過確率1/10 (中川・綾瀬川流域の48時間総雨量217mm)
・年超過確率1/30 (中川・綾瀬川流域の48時間総雨量281mm)
・年超過確率1/50 (中川・綾瀬川流域の48時間総雨量312mm)
・年超過確率1/100 (中川・綾瀬川流域の48時間総雨量355mm)
・想定最大規模 (中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm)
- (5) 河川条件:現況
- (6) 関係市町村
＜埼玉県＞草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
＜東京都＞足立区、葛飾区、江戸川区

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。